

事業紹介 PROJECT

SUMMARY

事業の背景・概要

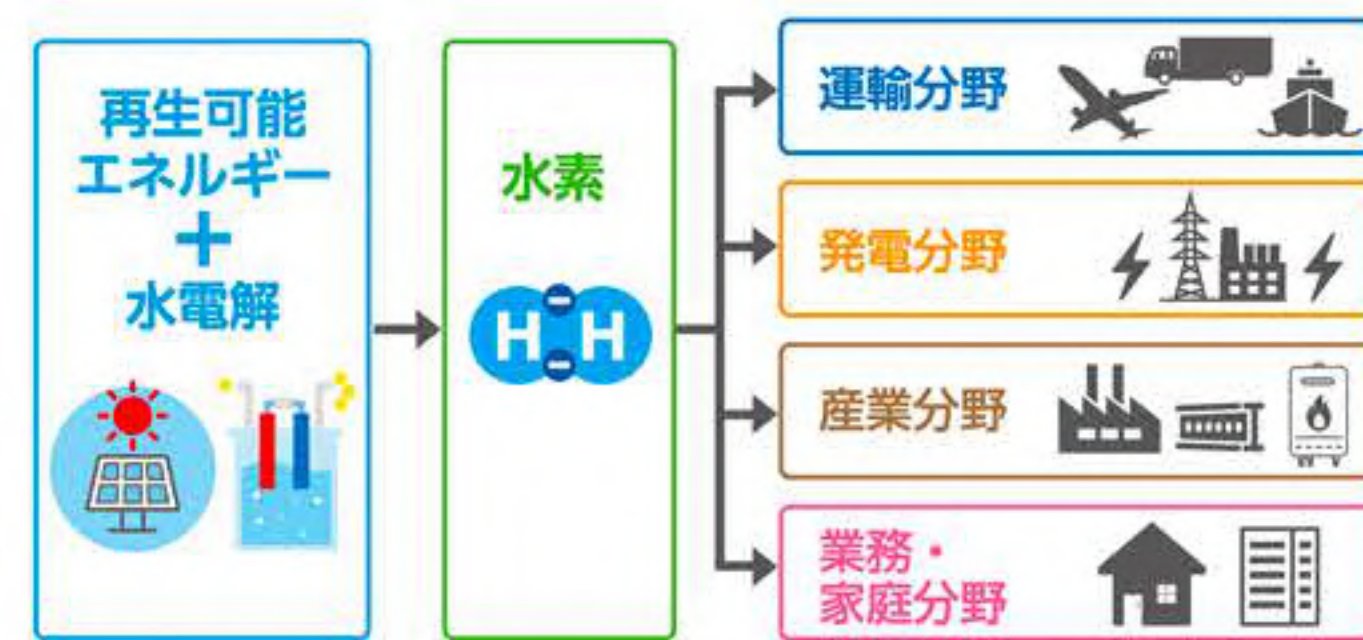
水素を活用した臨海副都心の取組

世界が注目する水素エネルギー

2023年、世界の平均気温は過去最高を記録し、気候変動がもたらす災害はこの50年間で5倍に増えています。

気候危機への早急な対応が叫ばれる中、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラル社会の実現に向けて、太陽光、風力、地中熱といった再生可能な自然エネルギーの活用が世界的に進められていますが、近年、新たなエネルギーとして注目を集めているのが水素です。

発電時にCO₂を排出せず、また、さまざまな方法で製造可能な水素は、エネルギー資源調達の大部分を輸入に頼る日本にとって、調達先の多様化による安定供給の確保の面でも将来性のあるクリーンなエネルギー資源です。さらに、大規模かつ長期的な保存が可能のため、必要な時にエネルギーを作り出すことができることも大きなメリットです。



出典：「東京水素ビジョン」（東京都環境局）



水素エネルギーを活用した 臨海副都心の取組

これまで進められてきた研究開発成果を実装・実証する取組として、臨海副都心では、水素を活用した官民による共同研究として、2023年度から2026年度までの予定で、以下の2つの事業を進めています。

- ・地域熱供給への水素混焼ボイラーの実装
- ・太陽光発電、蓄電池、水素発電を併用したグリーン電力供給モデルの構築

次世代エネルギー・水素の可能性を活用した、臨海副都心の取組にご期待ください。

プロジェクト参画者

- 東京都港湾局
- 産業技術総合研究所
- 清水建設
- 東京臨海熱供給
- 東京レポートセンター
- ヒラカワ